

令和6年度地区別組合員大会 質問・意見・要望の要旨 (開催日順)

通番	ブロック・支店	質問・意見・要望の要旨	回答
1	塩冶	他県では、JAがコーディネーターとなり、給食センター(教育委員会)と地元農家の橋渡し役となって、給食で地元の農産品を使う取り組みをしていると聞か、JALまねではどうなのか。野菜が高騰する中、直接取引をすれば安価で取引ができるうえ、農家へも安定した収入が期待できる。(例:JA東京むさし・規格外の野菜も取り扱い、計画的な生産に繋げているようだ。)	毎月、出雲市学校給食センター・出雲大同青果・JAの三者でマッチング会議を開催し、地元食材の利用促進を行っています。また、給食献立に毎月「出雲食材の日」があり、JAでの集荷品を使用いただいています。給食に使用されるロット量はかなり大きいので、希望に応えられる品目が限られているのが現状です。学校給食では1食の価格が決まっているため、価格が折り合わず近年採用されなくなった品目もあります。通常規格から外れた規格外品も量が確保できれば、採用していただくように提案もを行っています。
2	塩冶	農林中央金庫の赤字について、JALまね出雲地区本部にどのような影響がでるのか。分かりやすく説明してほしい。	農林中央金庫は利回りの低い外国債権を売却することにより、令和6年度は1兆5千億円の赤字となる見込みです。これにより、農林中央金庫からの還元が減少するため当地区本部の収支にも少なからず影響はありますが、事前の情報に基づき令和6年度事業計画に盛込んだうえで黒字計画を策定しています。
3	塩冶	米の新品種の導入について、気温が高くなりコシヒカリの品質が落ちているが、コシヒカリに変わる新品種の導入を考えているのか。山口県は新品種「にじのきらめき」を導入し始めている。	島根県西部でもにじのきらめきを導入している地区本部があります。導入するにしてもきぬむすめと収穫時期等が重ならないなど、品質とは別の問題をクリアしなければなりません。コシヒカリは、今後異常気象が当たり前となり品質維持が厳しくなると想定されます。
4	塩冶	塩冶地区では農家が小規模化・減少しているが、生産(営農)組織を地区を越えて作ることはできないか。	①塩冶地区に限らず農家の高齢化が進み、耕作放棄地が増えています。現在アグリ開発が川跡地区などで耕作を行っています。個別に営農センターへご相談ください。 ②地区によって組織化できるところとできないところがあるようです。地域を越えた組織は、集落営農連絡組織協議会や稲作研究会等があり、生産者同士の意見交換など実施しています。 ③営農組織も機械の更新、後継者問題等あります。各種補助金も対応できるよう行政に働きかけていきます。
5	塩冶	コロナが終息に向かい5類となってから米が足りなくなっているが、出雲地区本部の現在の状況、今後の米価の見通しについて教えてほしい。	令和5年産米の販売状況は、かなり進捗しています。6月の民間在庫は177万tで、180～200万tが適正な在庫と言われているため、需給バランスは引き締まったものとなっています。農業新聞によると、令和6年産米は、南九州では前年よりも高い概算金が提示されている模様です。今後の作況指数等も注視しながらとなりますが、今年度の概算金は8月末には理事会で決定した後、生産者に提示できると考えられます。ただし、概算金が上昇しても収量を確保してもらわなければ、残念な結果となるので病気等にお気をつけいただき、是非ともJAに出荷いただきますようお願いいたします。
6	塩冶	ラピタみなみ店のリサイクル回収トレーについて、ルール違反している人がいる。車の横付け等、禁止のはずだがもっと徹底してほしい。	掲示を明確にするとともに、ルールの徹底と事故防止に努めて参ります。
7	塩冶	座談会等を以前のような小さい規模(会場)で開催してほしい。大きな会場だと意見が出にくい。工夫して開催してほしい。	コロナ禍等もあり、来場者数が減少傾向にあるため塩冶も1会場としました。会場を増やしても数名しか出席されない場合もあります。支店運営委員会やJA委員会において協議・検討します。
8	大社	農林中央金庫の損失がJALまねに与える影響はどうか。	農林中央金庫は利回りの低い外国債権を売却することにより、令和6年度は1兆5千億円の赤字となる見込みです。これにより、農林中央金庫からの還元が減少するため当地区本部の収支にも少なからず影響はありますが、事前の情報に基づき令和6年度事業計画に盛込んだうえで黒字計画を策定しています。
9	大社	職員の減少が顕著であるが、原因と対策はどうか。	定年退職と中途退職があり、特に2～3年目の退職者が多くなっています。JALまね全体でも職員確保が問題となっています。理由は、県内他社と比較し初任給が低いこともあり、内定を出しても他の企業に就職してしまう人が多いことや、地区本部間で給与格差があるので人事異動ができないことが挙げられます。JALまねとして、早急に新人事制度を導入し、初任給を引き上げ、職員確保に努めたい考えです。
10	大社	鶴鷺店のATMが無くなり大変不自由している。郵便局で利用出来ると言われるが、年金の指定替えをされた人が大勢いる。現金の宅配等は考えていないのか。	ATM再編については、かねてより様々な要素に基づいて協議・検討を重ねた結果、令和6年5月末をもちまして12機のATMを廃止としました。JALまねのキャッシュカードであれば、曜日や時間帯により手数料は異なりますが、郵便局やコンビニ等のATMでも利用できます。なお、現金宅配は、不祥事防止の観点から普通貯金通帳のお預かりができないため、実施できかねますのでご了承ください。
11	大社	耕作放棄地が増えているが、JAとしてどうするか検討してもらいたい。	現在、出雲市農業支援センターを中心に地域計画の策定を行っています。将来の地域のあり方について、地域の担い手や農業委員・行政・JAなどが集まり検討しています。この地域計画は策定して終わりではなく、毎年見直しをしていきます。このような方法を活用しながら、耕作放棄地対策に取り組んでいきたいと考えています。
12	大社	7月9日の豪雨により日御碕の生活道路が崩落してしまい住民が生活に大変不自由している。JAとして何か支援は考えているのか。(行政からの支援物資はすでに届いている。)ATMも停止しているが稼働する予定はないのか。	策で必要とされる物資等を確認のうえ、JAとして実施可能な支援を検討中です。ATMについてはアルソックに委託していますが、現金補充や障害対応が出来ない為、道路の復旧に合わせて再稼働させる予定です。(その後、管轄を支店対応にして7月22日に再稼働しました。)
13	大社	ラピタ大社店は今後どうなるのか。品揃えの面で他の店舗より劣るが今後の方針はどうか。	厳しい運営状況ですが、店舗運営を継続していくための抜本的改革について検討を重ねています。品揃えについて、ご要望があれば検討いたしますので、遠慮なく職員までお申し出ください。
14	神戸川・神西	食料安保の観点から、我が国の食と農に対する国民理解の醸成が必要不可欠と考えるが、特に若者が農業を好きになるような取り組みや、今後の食料確保、農業後継者づくりをすすめるために、社会全体に農業の大切さと食料生産の必要性を国に訴えながら、JAとして今後どのような活動・運動をして行く考えなのか。	各営農センターを中心に、小学生を対象とした農業体験教室や、出雲市と連携して新規就農者にアグリビジネススクールを開催し、サポート等を行っています。その他、直売会の会員には栽培講習会、家庭菜園を行っている人には農業講座等を行っています。さらに、女性部や農青連組織とも連携しながら、活動を行っています。また、JAグループでは、国産・国産をPRしながら、小学生の食農教育にも取り組んでいます。
15	神戸川・神西	TAC担当者の異動が早いと感じる。また、地域毎の配置ではなく、作物毎に配置が出来ないか。また、正組合員数を職員数で割ると1人の職員が14人の正組合員を支えることを考えると、TACの数も足りないと思うが。	異動に関しては、5年ルールもあり長期滞留が出来ませんが、作物毎の配置に関しては、今後の参考とさせていただきます。TACの人員に関しては、資料掲載の職員数にはラピタ職員や約300人の有期雇用者も含まれています。TACの人員に関しては、5名から3名体制になった経過はありますが、近年の採用難もあり、限られた人員の中で試行錯誤しながらやっていることについては、ご理解ください。
16	神戸川・神西	コメの販売価格が上昇しているという報道もあるが、JALまねの令和6年産米の概算金はいくらぐらいになりそうか。	今年も高温が予想されており、コメ不足も予想されますが、8月理事会で正式決定する予定です。
17	神戸川・神西	1日農業アプリ「デイワーク」の利用状況を教えてほしい。また、賃金設定はどうすればいいか。	【利用状況(6月末時点)】 ○生産者登録数 15名(島根県内36名) ○4月～6月利用状況 利用日数43日 利用生産者7名 平均時給1,083円 ○4月～6月マッチング状況 募集120名 成立105名 マッチング率87% リピーター率65.8% (参考)令和5年度 募集121名 成立110名 マッチング率90% リピーター率52.3% 賃金については、最低賃金(時給904円:令和5年10月時点)以上であれば雇用者側が自由に設定できます。
18	神戸川・神西	土・日の神戸川支店駐車場において、ゆうプラザの利用者と思われる駐車によってATM利用者の駐車スペースが無い状況となっている。ATM利用者の駐車スペースを確保してもらいたい。	7月13日から8月13日まで、ゆうプラザに駐車場をお貸ししていますが、駐車スペースを砂利部分に限定し、来店客やATMの利用者に支障がないようにしています。しかし土・日は警備員が常駐していないこともあり、ATM付近に駐車している利用者があるようです。今後は、ATM付近の駐車スペースにコーンを設置し、注意表記をするなどの対策を行います。
19	神戸川・神西	支店の再編が進められているが、11地区本部の再編を早急に進めていただきたい。個人的には東部・中部・西部の3地区本部への集約が望ましいと考える。また、本店を松江市殿町から出雲地区本部へ移転して欲しい。	11地区本部の再編協議については、今後、運営体制検討委員会が設置され、協議が始まります。協議していく中で検討状況等をお繋ぎします。なお、本店の所在地については、耐震補強して現本店(松江市殿町)を活用することが決定していますが、将来的に移転問題の再検討が生じた段階で協議・検討することになると思われます。
20	神戸川・神西	支店再編等の改革自体が組合員からすれば、マイナスとなっている感がある。役職員一丸となって、組合員にプラスとなる改革を行って欲しい。	JAを取り巻く経営環境が厳しくなるなか、支店再編等に取り組まざるを得ないことはご理解ください。一方で、組合員にプラスとなるような改革を実施していきたいので、組合員の皆様からも良いお知恵があれば是非ご提案をお願いします。
21	川跡	ラピタ本店の駐車場の通行表示を改良してほしい。主として西駐車場は一方通行にして動線を決めてあるはずだが、消えていたり分かりにくかったりして、逆走の車も多い。今はフィットネスもあり利用者(車)も多いので実は事故も起っている。	ラピタ本店西側駐車場において、一方通行表示が見えづらくなっており、皆様にご迷惑をお掛けして申し訳ございません。今年度中にラインの引き直しを実施し、安心して駐車が出来るように改善します。
22	川跡	ラピタ本店の産直売り場について、春季・秋季の端境期を除いて大量の出荷があり、コンテナが山盛り状態になり来店客が品定めしにくい状況にある。出荷量が多い時期に限り、売り場スペースの若干の拡張の検討をお願いしたい。(直売会員からの要望)	ラピタ本店の農産物直売コーナーにおいては、出荷量の増減により若干の売り場の変更を行っております。しかしながら、他の売り場スペースとの関係や通行スペースもある程度確保しなければならず難しい状況にありますが、売台の下部に出品物をストックし、売り場の状況を見ながら品出しする対応を(検討)します。会員のみならず、売上状況に応じて分納や午後出品もご検討下さい。
23	川跡	JALまねの定款をホームページ上に公開してほしい。定款や規約は組織運営の根幹をなすものだが、公開されておらず不便をきたしてきた。他県のJAの多くはホームページ上で公開している。	過去にご指摘のなかった貴重なご意見としてありがたく受け止めています。JALまねの定款およびホームページの管理は本店であることから、本店に確認いたしました。その結果、「組織運営において基本規程である定款等を公開していない理由などを検証したうえで、公開する方向で検討を進めます。」との回答を得ましたのでお繋ぎさせていただきます。
24	川跡	農林中央金庫の経営陣の責任の取り方はどうなっているか。	農林中央金庫は利回りの低い外国債券を売却し、資産の入替を行うことで令和7年度以降の黒字化を確実にする戦略的措置を取っています。その後、経営陣の進退について検討されると聞いています。
25	川跡	支店統廃合により、中学校区に1支店という話があったが、どうなっているのか。	現状、フランチャインを解消(店舗統廃合)することを最優先としています。中学校区1支店とする場合に、必要に応じて新店舗の建設を検討する必要があること等、課題が多く、継続的に協議・検討を行っている状況です。
26	川跡	職員数の減少と支店統廃合の話を一緒に括ることは本末転倒である。	従来より、可能な限り支店等の事業所を維持していく考えではありませんが、一方で事業所の維持には職員が必要であるため効率的な運営を行う必要があります。
27	川跡	アグリ開発の規模を拡大してほしい。	社員数が少なく、効率化を進めていく必要があります。現在、同社が耕作している田が点在しており、集約化を図る必要もあります。さらに、草刈りの労力不足の問題もあり、地権者にもできる限りご協力いただくことをお願いさせていただきます。

令和6年度地区別組合員大会 質問・意見・要望の要旨（開催日順）

通番	ブロック・支店	質問・意見・要望の要旨	回答
28	川跡	ジュンテンドー以外のホームセンターと業務提携の予定はあるか。	JAしまねでは、様々な観点からホームセンターとの連携先について検討を行った結果、地元企業であるジュンテンドーと業務提携を結ぶことになりました。現段階では、ジュンテンドー以外のホームセンターとの業務提携の予定はありません。
29	川跡	これから就農しようとする人たちのために、畑作の栽培管理等について、スマホで見れる動画等を提供してほしい。他のJAでは作成しているので参考にしたい。	産直向け野菜栽培については、DVDを作成しており、希望があればお渡しできます。今後、ご意見を参考に動画提供等を検討します。
30	川跡	出雲市全体として、基盤整備を進めていく必要があり、行政に要請してほしい。	出雲市農政会議を通じて、毎年要望書を提出していますが、予算の関係で思うように進んでいないのが現状です。特に地域の用排水については、土木委員との連携が重要であり、土木委員を通じて取り組みが必要となります。また、多面的機能交付金を活用した取り組み事例もありますので、出雲市農業振興課へお問い合わせ下さい。
31	川跡	かつてのアグリ開発は、条件の悪いところも耕作していたが、今は断られてしまう。条件の悪いところもカバーしてもらいたい。	今後面積を拡大する方向で検討していますが、地権者にも草刈り等できる限りのご協力をお願いさせていただきます。
32	多伎	総代会や組合員大会その他JAの集まりがあるが、報告の場なのか協議の場なのか。収支を見せることも相談もなく店舗再編が進められる。組合員の耳に入る時には決まってしまった事ばかり。口頭の話ばかりでなく収支を公開して頂いて議論すれば、組合員にも協力できる事がある。ATMもラピタもしくり、多伎では死活問題になる。老人はお金の出し入れも不便になり買い物も出来なくなる。組合員の為のJAであるべき。ちゃんと組合員に収支を見せて説明して頂ければ、弱みの部分を組合員として補う努力をしたいと考えている。JAには各種組織もあるので、ちゃんと組合員の意見に耳を傾け協議を深めて意見を反映させてほしい。	毎年6月末に開催する通常総代会は、議案を報告したうえで、総代の皆様に協議(決議)いただくJAの意思を決定する最高決定機関として位置づけられています。また、組合員大会は、JAの事業概況を組合員に報告するとともに、意見交換を通じてJAへの理解を深めていただくことを目的として開催しています。このことから、総代会・組合員大会・冬期座談会では、JAしまねならびに出雲地区本部の全体の収支状況等をお示しし、組合員等からご意見・ご要望を承っているところです。なお、多伎地区に関連・限定する内容については、今後の地区内の運営等を協議する支店運営委員会の場でお示しすることが相応しいと考えます。【参考：支店運営委員会開催要領】支店運営委員会はJAの運営や事業活動についての意見、要望の集約を行う機会とし、組合員の意思反映を目的とする。ご要望いただいた施設別収支等は、まずは支店運営委員の皆様にご確認いただき、今後の運営について協議させていただきたいと考えます。決まったことばかりをお繋ぎするという面では反省すべき点も多々ありますが、方向性等を定めたいという面については、ご理解いただけますようお願いいたします。なお、冬期座談会でお示した小規模店舗(金融特化店)化については、折を見て改めて協議の場を持ちたいと考えていますので、その際にはよろしくお願いたします。
33	多伎	ラピタの赤字がどう推移して現在に至るか分析しているのか。ラピタ多伎店の赤字がどのくらいなのか組合員にわかる資料を配って大変だと訴えるべきだ。現状理解を進めてラピタの利用を促すべきだ。でないとラピタ多伎店が無くなってしまふ。生活難民がでる。ラピタは検討委員会で議論が始まっているようだがどのような議論がされているのか。	ラピタ多伎店の状況は、JAしまね統合時の平成27年度と比較すると、供給高と客数が約3割減少しています。競争が激化し供給高は減少する上、運営コストは増加傾向にあり、事業利益は赤字に転落する厳しい状況が続いています。昨年10月に検討委員会を立ち上げ、今後の小規模店舗の在り方について協議を始めました。将来の人口推計など内外環境を踏まえると、事業譲渡や閉店すべきとの意見も多数ありましたが、社会的使命や地域密着性を考慮し、これまで通り存続していくための抜本的改革について検討を重ねています。今後も現状をお繋ぎしながら、更なる店舗PRや利用促進に努めて参りますので、皆様のご支援をよろしくお願いたします。
34	多伎	ラピタ(多伎店)を残すために必ず使うようにしよう。みんなで使えば黒字になる。出雲に行くとかソソリ代もかかってもったいないともってPRするべきだ。	ラピタ多伎店の状況は、JAしまね統合時の平成27年度と比較すると、供給高と客数が約3割減少しています。競争が激化し供給高は減少する上、運営コストは増加傾向にあり、事業利益は赤字に転落する厳しい状況が続いています。昨年10月に検討委員会を立ち上げ、今後の小規模店舗の在り方について協議を始めました。将来の人口推計など内外環境を踏まえると、事業譲渡や閉店すべきとの意見も多数ありましたが、社会的使命や地域密着性を考慮し、これまで通り存続していくための抜本的改革について検討を重ねています。今後も現状をお繋ぎしながら、更なる店舗PRや利用促進に努めて参りますので、皆様のご支援を・ご利用いただけますようお願いいたします。
35	多伎	6/1から食品衛生法の施行により、漬物製造が届出から許可制に変更された。許可を得るための施設の改修に係る経費への補助は、直売会会員だけとのことだが、組合員全般が利用できるように認めて頂きたい。	JAと出雲市が拠出している出雲農業未来の懸け橋事業では、直売所へ出荷される販売農家を対象に販売高20万円以上増加する計画を立てることで認められています。組合員全般がどのような組合員が対象が不明瞭ですが、漬物の販売を目指しておられる農家の皆様におかれましては、直売会の会員になっていただき、販売していただけますようお願いいたします。
36	多伎	いちじく加工場の民間譲渡の話があるようだ。民間譲渡など、ただの業者に任せてしまったら多伎いちじくのブランドが無くなってしまふ。一企業に任せるとなれば、業者の経営状況次第では数年で約束を反故にされるリスクもある。多伎いちじくには加工にも強い力がある。現在の施設は素晴らしい施設だ。組合員も協力するのでなんとか守ってほしい。	令和4年度から取り組んでいます多伎農産加工場の収支改善状況につきまして、ウクライナ侵攻を原因とする原油高騰、円安による輸入品の高騰等により当初計画した状況とはかなり状況が変わり、加工品の包装資材、DB等の出荷資材、加工原料を貯蔵する冷凍庫の電気代等すべてが値上がりしました。当初、加工品の値上げを令和4年度に5%の計画だけでしたが、資材、燃料、電気等の高騰により令和5年度に8%の値上げを実施。それでも収支改善が見込めないため、令和6年度も7%の値上げを行い、合計20%の値上げを行いました。加工原料の集荷状況につきましても、令和2年産で33.5tと過去最低の集荷数量となり、この4年間50tに届かない集荷数量となっている。加工品を年間安定して製造を行うために必要な原料が不足していることから、毎年2月には県外業者へ「干しいちじく」の注文を中止している状況であり、年間の販売高が伸び悩み、人件費、原料外部保管費、メンテナンス料等の固定費が収支に大きく影響しているため、令和6年3月に加工場職員を2名減にせざるを得ない状況となりました。このような状況が続くようであれば、多伎農産加工場の運営は継続困難に陥ることから、加工原料の販売先を確保する為、県内の加工業者へ加工原料の供給について話を行ったところで。多伎いちじく部会の部会さんへの協力と現在の多伎農産加工場を継続して運営する為、次の4点をお願いします。 ①年間通じて加工品製造・販売が出来るために、加工原料の出荷数量(荷受数量)を50tをお願いします。 ②多伎農産加工場の後継者の確保をお願いします。 現在の加工品製造を行っている職員も60才以上が2名いることから、加工場を継続する為に新規で従業員(職員)を採用し、加工品製造のノウハウを後継者に教えて行く必要があります。加工場で働いても良い方がいらしたら紹介をお願いします。 ③加工原料荷受けと加工品配達員の確保をお願いします。 令和6年度より加工場の職員が2名減により、加工原料の荷受けと加工品の配達をして頂ける方の紹介(確保)をお願いします。 ④多伎農産加工場の収支改善のご協力をお願いします。 令和6年度は、加工原料の持ち越しも昨年度より多くあることから、いちじくシーズスタートの9月に加工品製造を行い、販売を早くから行うつもりである。(昨年は加工原料の入荷後10月から)しかし、令和6年産の原料が40tを下回れば、令和5年度同様に▲1,000万円超える赤字となることで、これ以上加工品の値上げは業者離れとなり兼ねないこと。加工品販売高の過半を占める「干しいちじく」を製造する乾燥機が20年を経過し現状の収支では更新が難しいため、故障でもすれば加工場の存続の危機となります。収支改善を進める為、多伎いちじく部会の皆様へ「①加工原料の確保」と「②、③加工場の従業員確保」による「④収支改善」のご協力をお願いします。
37	多伎	多伎地区にはサルが悪い事をして困っている。インシシも出る。行政の対策では不十分なのでJAも応援してほしい。農作物被害対策の情報も流してほしい。	鳥獣害でもっとも多くの被害報告があるのが、インシシとなっています。出雲市森林政策課の情報では令和5年度のインシシ被害額は3,111千円、第2位のシカ被害は412千円となっています。これは報告があったものだけですので、実際はさらに大きな被害が起きていると推測されます。捕獲頭数については令和5年度のインシシ捕獲頭数は1,524頭と情報を得ています。出雲市として捕獲檻の導入を進めておられ、令和5年度も35基導入し、一定の効果はあったと報告を受けています。サルについては、簡易な柵や罠では捕獲も困難であり、現在多伎より更に東(朝山)へ進出しているとの情報であり、「クマ・サル出没情報公開システム」を活用した情報提供を行っておられます。JAとしては引き続き、行政との連携を行うとともに、集荷されるべき農作物の獣害被害については、要件はありますが、出雲農業未来の懸け橋事業にて次期作支援を実施していますので、河南営農センターにご相談ください。
38	多伎	JAの鳥獣対策が難しいことも理解できますが、もっと踏み込んだ回答が欲しかった。鳥獣被害は生産意欲が無くなるのでJAでも頑張ってください。事前回答は、ラピタも含めて言い訳ばかりに聞こえる。JAがこれからどう取り組んでどうするつもりなのか力強い回答が欲しかった。	JAとしては、生産現場への支援が主となることから、有害鳥獣対策については、引き続き行政に要望していきます。
39	多伎	ラピタ多伎店は地域の中心なのでそのまま残してもらいたい。以前のラピタ多伎店は、多伎の新鮮な魚が買える店であった。以前のように港から朝獲れを直接ラピタにおいてもらえるようには出来ないものか。魚の店としてリニューアル・イメージアップすれば、多伎で獲れた魚を食べたい人が帰ってきて利用も高まると思う。赤字で大変なもの分かるが品揃えが悪く一度の買い物で揃わないと他所へ行かざるを得ない悪循環になっている。大変だと思うが努力してほしい。	ラピタ多伎店の存続のため、業務効率化や収支改善について協議しています。以前は水産担当職員を配置していましたが、専門職員の不足や売上低下により、現在は本店プロセスセンターで仕入・加工し、各店へ配送しています。今後も魅力ある店舗を目指して努力しますので、ご支援・ご協力をお願いいたします。
40	多伎	過去5年間のラピタ多伎店・多伎支店の収支状況をできれば口頭ではなく、書面で示してください。	ご要望いただいた施設別収支等は、まずは支店運営委員の皆様にご確認いただき、今後の運営について協議させていただきたいと考えます。決まったことばかりをお繋ぎするという面では反省すべき点も多々ありますが、方向性等を定めたいという面については、ご理解いただけますようお願いいたします。なお、冬期座談会でお示した小規模店舗(金融特化店)化については、折を見て改めて協議の場を持ちたいと考えていますので、その際にはよろしくお願いたします。
41	多伎	11地区本部あるがJAの現在の給与体系何通りで、今後はどうしていくのか。JAなら1つの給与体系が普通ではないか。その方が人事異動もしやすくなるのではないか。	現在の給与体系は、一般職は3通り 管理職は地区本部別にあります。今後は、新人事制度の導入により一本化する考えで手続きが進められます。給与体系が統一されることにより、地区本部間の異動も可能になるので、人手不足等の問題も改善が見込めるものと思われま。
42	多伎	前回の座談会の時もだが、結果ばかりの報告で、検討段階や協議・相談はおいてこない。ATMや店舗再編など決まる前に相談してほしい。また、赤字赤字であちこち不便になるばかりで、残念でたまらない。赤字をどう埋めるのかどこで補填するのか、戻すにはどうすればいいのか、売り上げを上げる方法等がおきなりになっている。	決まったことばかりをお繋ぎするという面では反省すべき点も多々ありますが、方向性等を定めたいという面については、ご理解いただけますようお願いいたします。なお、旧行政区の支店等は、赤字縮小に努め維持していくこととしています。赤字縮小の施策等については、ご相談させていただきます。
43	多伎	どこの地域も高齢化しているが、多伎は特に近隣の町までが遠いこともあり、利用できる施設等がなくなると大変困る。将来のことも鑑みて利用できる施設等は残してほしい。	旧行政区の支店等は、赤字縮小に努め維持していくこととしています。赤字縮小の施策等については、ご相談させていただきます。
44	多伎	佐田の雲海の館や多伎の海辺の朝市など、みんなで作った直売所などに支援してほしい。予算が足りないなら仕方ないと思っっているが。	直売所自体への支援はメニューがない状況です。出雲農業未来の懸け橋事業では、直売会の会員向けの支援を行っています。予算の都合もあり、ご理解いただけますようお願いいたします。

令和6年度地区別組合員大会 質問・意見・要望の要旨（開催日順）

通番	ブロック・支店	質問・意見・要望の要旨	回答
45	多伎	いちじく50tおろせと言われるが、生産する側としては天候に左右されるので確約できない。無理なことを言っている。単価を上げる等に方面を変えてほしい。それと乾燥機よりジャムで出荷したいと言っていたが方針を変えたのか。加工場は、買い支えるためにどうすればいいかということで行政が作った。それをJAが買い取ったからには責務を果たして欲しい。50tおろせというのはJAの驕りではないか。	職員に給与を払う必要もあり、50tという目安があります。これからもご協力をお願いします。注文のうち7割くらいが干しいちじくであり、主に県外の方が多く、好評をいただいています。以上の点を鑑みて干しいちじくをメインにしています。約束はできないかもしれませんが、50tの出荷に向けご尽力いただきますようお願いいたします。
46	多伎	加工用いちじくを沢山出せと言われるが、過去には数量が多いときは冷凍庫代が効かるので、出荷制限されたこともある。JAは言っていることに一貫性が無い。原料買い取り価格を下げてと言われた。生産意欲も落ちる。加工場の身売りの話や50t作れというが、こういったことはいちじく部会の臨時総会を開くべき。また、50t出せは黒字になるのか。昔から赤字赤字といっているが、無理ではないのか。	部会全体で話す意見も出たが、役員会で協議して白紙になった経過があります。これからどうしていくのか、JAとの話し合いの場を計画しています。資材高騰で加工場も苦勞しています。商品の値上げも実施したが、これ以上値上げした場合、お客が離れてしまう懸念があります。黒字にするのはなかなか難しいですが、50tあればプラスマイナス0くらいにはなると思われます。
47	佐田	ジュンテンドーとの業務提携メリットを教えてください。	業務提携の内容として、まず店舗連携を行ったジュンテンドーの店舗ではJAマーク商品の肥料や農薬などが購入できるようになります。また、JA組合員がJAの「おさいふカード」と連携登録したジュンテンドーの「いきいきポイントカード」を提示して買い物をすると、通常の買い物金額200円(税別)につき1ポイント付与されるところ、組合員は200円(税別)につき2ポイントが、いきいきポイントカードに付与されます。更におさいふカードへのポイント付与として、JA組合員がジュンテンドー店舗にて「いきいきポイントカード」を提示して買い物をすると、お買い物金額10,000円(税別)につき30ポイントが年間購入金額に対して一括付与されます。店舗連携については、県全体で一斉に実施するのではなく、地域性を考慮してJA資材店舗がない地区本部から順次連携を開始する方針です。
48	佐田	JAの始業時間は何時か。8:30から窓口を開けてほしい。(仕事前に利用したい。)	就業時間は、8:30～17:00となっており、支店(金融)窓口は、8:45～15:00が営業時間となります。出雲支店は9:00～15:00が営業時間となります。
49	佐田	ラピタ佐田店の対応が悪いと聞きます。 ・精算後に買物カゴを運んでくれることがありますが、毎回ではない。 ・トレー回収箱に弁当の残りと一緒に入っていた。貼り紙等でアピールしてはどうか。	接客については、再度職員教育を徹底し、サービス向上に努めていきます。買物カゴは、基本的にセルフでお願いしていますが、利用者や時間帯に配慮しながら、お手伝いさせて頂いておりますので、ご了承ください。トレー回収箱については、ご意見を参考に検討させていただきます。
50	佐田	・肥料等の早期注文をしているが、配達時期が早く使用まで保管場所に困る。割引率を下げてもいいので、営農センターで保管いただき、必要な時に取りに行くことはできないか。 ・つきあかり(その他米)についての情報を教えてください。	・配送に関しましては、物流問題等の影響により、使用時期に配達することは正直できない状況です。ご自身で引き取りに来ていただける場合は、予約申込欄で配達と引き取りの選択ができるようになっていきますので、引き取り扱いでの申し込みをお願いします。なお、30袋以上の引き取りとなれば割引等もありますのでよろしく申し上げます。 ・ハナエチゼンの種子供給ができなくなったため、昨年からつきあかりの試験栽培を行っており、今年からハナエチゼンからの切替えとして推奨しています。つきあかりの品種特性は、コシヒカリより早く収穫でき、ハナエチゼンより多収となり、1穂粒数が多く屑米が少ないもので、コシヒカリ並みの良食味で全国的にも銘柄米として評判が高いものです。また、ハナエチゼンに比べ若干倒伏しやすく、整粒歩合が低く検査等級は低い、といった特性があります。栽培にあたっての詳細は営農センターまでお問合せください。
51	佐田	先日の総代会で11地区本部を再編計画することが新聞に掲載されていたが、赤字の地区本部もあるのではないか。組合員に影響が及ばないような取り組みをお願いしたい。また、支店再編も進んでいくとJAが遠い存在となるので、十分に精査したうえで取り組み願いたい。	組合員大会資料とは別に地区本部毎の収支表を配布していますが、全地区本部で黒字決算となっています。総代会で運営体制の見直しの話などありましたが、具体的な再編案はなく、検討員会を設置のうえ協議が進められますが、組合員にとって不利益とならないように精査しながら慎重に進めていきます。支店再編も当初、中学校区1支店の構想であったが、再度精査をして慎重に進める方向です。
52	佐田	南部営農センターは、職員が異動で転出しても補充が無い。そのため、一人当たりの業務量が多く、働き方改革の逆境ではないか。全体の職員配置を適正に行い、補充をお願いしたい。	近年の採用難により、職員の確保が大きな課題となっています。当地区本部でも限られた人員での運営を強いられていますが、適正人員基準を算出し、可能な限り組合員にご不便・ご迷惑のかからないよう適正配置に努めます。
53	佐田	農林中央金庫の赤字決算について、各JAから補填すると聞いたが本当か。	資本増強により農林中央金庫の機能維持や改善が図られることで、当組合においても追加還元が期待できること、財務面での追加負担がないこと等を踏まえ、令和6年5月30日付理事会にて資本増強に応じることを決定しました。
54	佐田	つや姫の栽培について、制約が厳しいが緩和できないか。肥料等は高騰しているが米価は上がらない。	つや姫については、条件付きで種を譲り受けているため、肥料・農薬の成分量の緩和は難しいです。よって、JA指導員等に相談いただき、個々の栽培における施肥設計、農薬体系の見直し等を行い栽培いただきますようご理解願います。肥料等の高騰については、国への要望や業績還元を活用して、少しでも安くできるよう努力をしています。米価については、米不足等も影響し上昇するものと思われます。
55	佐田	農機サービスが合併して、商品(部品)の在庫が少ない。また、修理も遅くなった。	部品の在庫につきましては、よく使う消耗部品は、各サービスセンターにある程度は在庫して修理対応をしております。在庫管理の面から在庫部品点数は圧縮しておりますが、全農部品センターに在庫があるものでしたら翌日入荷しますのでご理解いただきますようお願いいたします。
56	佐田	佐田給油所は日曜日が休日であるが、農繁期だけでも営業してもらえないか。そもそも、なぜ日曜日が休日になったのか。	給油所スタッフが不足しているため、日曜日を休店日とさせて頂きました。なお、現在セルフスタンド以外は週1日休店日を設定していますが、休店日設定については、各スタンドで1番利用が少ない曜日を設定させて頂きました。また、農繁期の日曜営業についても、現在スタッフ不足のため難しい状況です。ご理解いただきますようお願いいたします。
57	東部	農機事業が統合して間もないのであまり成果が出てないとは思いますが、一つにして良かったと思われるような工夫、努力をしていただきたい。例えば、中古農機・中古部品などオンラインで支店を結び端末検索で調達できるとか、そうしたことができれば良いと思う。また、他のメーカーのように「部品がありません。修理できません。新品を買ってください。」ではなく、できる限り修理して長く使っていただく、JAの良いところを見せていただきたい。小規模農家では、新品をなかなか購入できない。それが出来たら良いと思う。	農機事業は昨年、JA全農島根農機サポート株式会社として新たにスタートしました。統合によるスケールメリットを生かし農家の皆様を応援します。その第一弾として耕耘爪を予約価格にて7月末までの特価キャンペーンを開催しておりますのでご利用ください。中古農機については需要に対して供給が追いついておりません。大変ご迷惑をおかけしておりますが、県下全営業所の中古在庫状況は情報共有できますのでお問合せください。また、出来る限りの修理対応はしておりますが、部品の供給については各位メーカーの生産打ち切りとなった場合は修理対応ができないことがありますのでご了承ください。そして、社員の技術力向上をめざし、各種研修や、資格取得を推進し、農家のサポート役として努力します。
58	東部	農機サポートへVベルトの交換をお願いしたら、在庫がないと言われた。当日必要な場合に困る。農家のための会社として対応を頑張ってもらいたい。	部品の在庫につきましては、よく使う消耗部品は、各サービスセンターにある程度は在庫して修理対応をしております。在庫管理の面から在庫部品点数は圧縮しておりますが、全農部品センターに在庫があるものでしたら翌日入荷しますのでご理解を頂きますようお願いいたします。
59	東部	ラピタのピンゴカードについて 昨年も言ったがピンゴの日に左側の列に押し印してもらえらるが、右側の列に押し印してもらいたい。	ピンゴカードは皆様にご好評いただき、定着化していますのですぐに変更は難しいですが、今後さらに魅力のあるものになるよう参考にさせていただきます。今年から来年にかけてレジの更新を予定しており、そのタイミングでピンゴの仕組みや電子化も含め色々検討させていただきますのでよろしく申し上げます。
60	東部	島根県には空港が3つあるが、これを有効活用して県の特産品のPRをしてほしい(神紅、万華鏡など)その際の特産品の販売価格は共販価格ではなく生産者価格(原価計算をしっかりと)で販売して欲しい。	特産品のPRはコロナ禍により充分に出来なかったところもありますが、昨年、一昨年あたりから東京関係でも積極的に販売促進を行っています(新宿伊勢丹等)。羽田空港でもぶどうの販促を行いました。今後も島根県・出雲市等の応援を得ながら連携して積極的に行っていきます。販売価格については、相手先と相談しながら生産者にしっかり戻ってくるような価格で販売したいと思っておりますのでよろしくお願いします。
61	東部	JAの経営合理化に伴う支店統合について、灘分支店はやむなく平田支店に統合された。それでもまだ今日まで拠点があることによって地域の組合員、地区民には、よりどころとして誇りを以て多くの活動に利用をさせて頂いている。ところが、この度その会館を処分する旨の案が提案され驚きを隠せない。灘分はJAの東部地域管内でも一番の農業地域であり、JAでも中心的な農村地域からJAの名をなくすことは考えられない。近く平田管内(西部)の統合が予定され平田中央支店に配置されるようだが、中央支店が巨大化し職員の配置に支障が出ると思われる。そうであるとなれば、「営農センター」を灘分会館に移転をし、宍道湖西岸圃場整備事業に伴う今後の営農振興の指導拠点(サポートセンター共)として活用していただきたい。	皆様方には、一連の支店再編に関してご不便とご迷惑をお掛けしているものと認識しています。灘分会館を含む全ての会館について、令和6年12月を目途に、地域からの活用提案を受け付けている段階であるため、現時点では貴重なご意見として賜ります。なお、5月2日開催の灘分支店運営委員会兼JA委員会において、9月末までに灘分地区として灘分会館の活用方法をとりまとめていくという話もありましたので、その辺りも含めて総合的に検討していきます。ある程度の方向性が定まりましたら、改めて地元での相談・協議の場を持ちたいと考えますので、よろしく願います。
62	東部	「JALまね」が統合されて数年が経過したが、ここにきて当初の方針とはかけ離れた方向に向かっているような気がしてならない。JAの基本的理念は「一人は万人の為に、万人は一人の為に」であり、農業者、農家(組合員)の声を反映させていくのがJAの役割ではないか。ところが、最近のJAは合理化を中心とした統合にばかり目が向いているとしか思えない。しかも、本店中心主義で事業が進められ、地区本部の体制が骨抜き状態にあるような気がしてならない。地域には地域の特性があるはずで、その地域の特性を生かすにはもっと地区本部に権限を持たせ、責任をもって「事」にあたる体制を構築してほしい。そうしてこそ役職員のやる気が出るものと思う。また、農業振興についても地域の特徴を知ったものは人間関係を含めて地区本部の営農指導員であると思う。日頃から組合員の声が反映できると思う。また、営農指導員は、自信と誇りをもって農家の指導にあたってほしい。その計画を勧めるにあたっては、地区本部の営農部長が責任をもって「事」にあたる必要があると考える。	まずは、JALまねならびに出雲地区本部について、気にかけていただいていることに感謝申し上げます。現状をお伝えしますと、ご存知のこととは思いますが、島根県・出雲市の少子高齢化に伴う人口減少により、農家組合員も減少傾向にあります。そのような状況下において、『持続可能な農業』を実現していくためには、組合員・利用者のご理解・ご協力を得ながら可能な限り、経営の合理化・効率化を図る必要に迫られていることについては、ご理解をお願いいたします。また、営農指導場面においては本店というよりも各地区本部の特性を生かしながら事業にあたることこそです。ここ近年の出雲地区本部における職員の退職者数の増加や採用難により各事業部門においても人員不足の状況となっておりますが、できる限り営農センターをはじめとする営農部門の人員を維持・確保しているところです。一方で様々な事情によりどうしても人事異動が必要となることから、担当者が短期間で交代となる場合もあります。地域の特性を理解している職員が長く担当することが理想ですが、営農センター・支店を問わず一人一人の職員が誇りと責任をもって組合員・利用者の皆様と接しております。コロナ禍以降、後ろ向きな願いやご提案をさせていただいており、明るく前向きな話題の提供が少ないことも承知しておりますが、これからもJAの本来の姿である農業振興を第一に取り組んで参りますので、ご理解とご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。
63	東部	ATMの廃止について コンビニ、郵便局のATMを使えと言われるが、廃止されたATMのそばには無い場合が多い。赤字でもやるべきことはあるので再検討をお願いしたい。	近隣にJALまねATMや郵便局またはコンビニ等のATMがなく、遠方まで出向く必要があるなど「距離的な不公平感」を是正するため、当初計画では19機のATMの廃止を検討していました。その後、再度、地元地区を交え協議・検討を行い、13機(令和5年度に1機、令和6年度に12機)の廃止に留め、6機を存続させることとした経過があります。
64	東部	グリーンセンターについて ラピタが行っているポイント5倍デーや3倍デーを行ってほしい。	グリーンセンターでは、グリーンフェアや農業まつりの際には特別セールや限定キャンペーンを実施し、ポイント加点(5倍)も行っています。また、予約購買を含めて年間取引金額(1万円以上)に対して1万円あたり15ポイントを付与しています。今後もお客様にご満足いただけるよう、様々なサービスの向上に努めて参ります。
65	東部	グリーンセンターの職員さんの笑顔が少ない。また苗のことえを聞いても答えられる方が少ない。	お客様にご不快な思いをさせてしまい申し訳ありません。今後、このようなことがないよう、店舗職員に対して改めて接客マナーの徹底を図り、笑顔での対応を徹底するよう指導して参ります。また、定期的な研修を実施し、職員のレベルアップとサービス向上に努めて参ります。



令和6年度地区別組合員大会 質問・意見・要望の要旨 (開催日順)

通番	ブロック・支店	質問・意見・要望の要旨	回答
66	東部	メモリア平田の外壁が汚い。去年はシールを貼られたようだが、根本的にきれいにしてほしい。また、メモリア平田の職員の方と話をした時に「自分はJAの職員ではない」と言われたが、どのような運営体制なのか。	現場確認を行い、改善に向けて検討していきます。メモリア平田の運営については、派遣の職員さんと連携して運営しています。
67	東部	JAしまねの運営について 個人的な意見をいうと地区本部制を維持してさらに地区本部に権限をもたせて運営して欲しい。デジタル化をもっと進めるべきであり、大きな組織ではJAが一番遅れている。ATMについては移動式ATM車を使う方法もあると思う。	ご指摘のとおり、運営効率化の面でデジタル化の進展が急務であります。移動式金融店舗(ATM)については、これまでも検討したことがありますが、採算性や一定の利用者が見込めないことから導入を見送った経過があります。
68	四絡・高浜・出雲	新聞等で報道されているように、令和6年度以降、合理化がすすめられるのではないかと危惧している、その点はどうか。	運営体制検討委員会の設置が決まり、今後のJAしまねの運営体制について協議が開始されます。どのような運営体制としていくかが主たる議題となり、組合員の生活に直結する事業所については、維持していく考えです。
69	四絡・高浜・出雲	担い手の高齢化が進んでいる。生産資材の価格高騰など厳しい状況。好転するような良い話を聞きたい。	農業分野における担い手の高齢化や生産資材の価格高騰は、確かに大きな課題です。しかし、いくつかのポジティブな動きや取り組みもあります。近年若手農家の参入が増えており、革新的な技術やビジネスモデルが導入されています。また、地域の支援やネットワークが強化され、農家同士の協力が進んでいます。さらに、環境に配慮した持続可能な農業が注目され、消費者の支持を得る機会が増えています。これにより、農業の魅力が再評価され、担い手の世代交代が促進されています。
70	四絡・高浜・出雲	支店の統廃合を検討しておられるが、新名称は決まっているのか。	統合後の支店名称は、コスト増および事務負担を考慮し、原則現在の母店名称(四絡支店)を採用することとしていました。4月に四絡・高浜合同での支店運営委員会を開催し、皆様からのご意見を頂戴した後、各地区へ持ち帰り意見集約のうえ総代で協議した結果、『出雲北支店』とする方向で調整中です。正式決定は、9月開催の本店理事会となり、その後、農林中央金庫への正式申請が受理された後に、組合員・利用者へ周知を行う予定です。
71	四絡・高浜・出雲	農林中央金庫は1兆5千億円という大きな赤字を出しているが各JAや組合員ともしっかり向き合うべきではないか。	農林中央金庫は現在、赤字の原因となっている債権の売却等をすすめています。令和7年度には黒字化する予定です。
72	四絡・高浜・出雲	高浜支店がなくなって高浜会館として各組織で使わせてもらっている。コミセンもあるが利用が重なり予約が取れない。料金もかかるので高浜会館の和室、炊事場、トイレだけでも残してもらいたい。様々な活動が続けられるようにしてもらいたい。	現時点では、令和6年12月を目途に、地域からの活用提案を受け付けている段階であるため、明確な回答は差し控えてさせていただきます。会館が使用できなくなった場合の基本的な考えとして、組織活動についてはコミセン等を利用いただき、その場合の利用料等をJAが負担することとしています。
73	四絡・高浜・出雲	高浜会館のATMが無くなり、交通弱者は困っている。ファミリーマート北店のATMは常に2・3人の行列ができています。徒歩で利用される方も多く、横断歩道のない農道を渡らなければならない、地区から信号機の設置について警察に要望を出している。JAとしても要望の提出に協力してほしい。	高浜地区からの要望内容に基づき、警察関係者と同席する機会に要請していきます。
74	四絡・高浜・出雲	出雲市とJAとの「かけ橋事業」に縛りが多く利用しづらいが、見直す予定はあるのか。	出雲農業未来の懸け橋事業は、出雲市とJAが拠出し、予算額1億3千8百万円で事業を行っています。水稲用の機械の大きさについては、耕作面積に応じた条件をつけさせて頂いておりますが、国の事業の要件に比べ大幅な緩和となっています。また、メニューによっては他の補助事業にはない更新を認めるなど、特色がある事業展開をさせていただいています。出雲農業未来の懸け橋事業は毎年、多数の要望があり、ある程度の基準を設けさせていただいていることをご理解ください。
75	四絡・高浜・出雲	JAの高卒初任給が非常に低い。職員数も減少しており、その分費用が少なくすみ収益が出ていると思う。職員の採用等頑張してほしい。	採用難の一因として、初任給が低水準であることと理解しています。その状況を改善すべく、JAしまねとして新人事制度の導入に向けて手続きが進められています。
76	四絡・高浜・出雲	イネカメシについて、防除する必要があると思うが、経費の補助はあるのか。	農業指導センターを通じて、防災無線を活用した農業防除の広報、各営農センターからの働き掛けを中心に防除徹底をお願いしています。まずは基幹防除を徹底していただき、その上で、次期作以降も影響がある可能性が高い場合、関係機関と連携のうえ、どのような支援が出来るか検討します。
77	高松	自動車共済の掛金が他に比べても高いように思えるので検討してほしい。新しい商品を考えてほしい。	自動車共済の掛金については、インターネットの普及に伴いネット加入が増加傾向にあり、経費がかからない分を価格転嫁されJA共済より安いということはありません。しかし、すべての方がネット加入出来るわけではなく、JA共済はより丁寧で安心・安全を皆様方に提供すべく対面(窓口)販売としています。また、他社では昨今の交通量回復による事故の増加や物価高騰を踏まえて平均的な保険料水準を引き上げる中、JA共済では令和6年6月から共済掛金の引き下げを行っています。市場の動向を見ながらにはなりますが、皆様方にはこれまで同様安心して加入いただける環境を提供して参りますので、今後ともご利用いただけますようお願いいたします。
78	高松	放水路事業による斐伊川の河床低下、斐伊川から取水する高瀬川等の水量減少と水不足の現状を県と国へ伝えてほしい。	出雲市農林基盤課から情報を得ていますので、ご紹介いたします。現在、河床低下に伴う対策として、斐伊川河川内に砂で堰を構築して取水していますが、大雨により河川が増水すると堰が決壊、農業用水の供給に支障をきたしている状況です。取水対策については、当面この堰の再構築による対応になりますが、抜本的な取水対策については出雲市として国や県とも協議をしているとの回答を受けています。
79	高松	町内の平均年齢75才、数年の内に農業用水路と排水路の泥上げなど日常の保守管理ができなくなり、耕作放棄地・耕作不能地が急拡大するおそれがある。	農業用水路と排水路の泥上げなど日常の保守管理については、地域での取組が基本であると認識しています。しかし、ご意見の通り、人員的な問題が発生しているのが現状だと考えます。そのため国の多面的機能支払交付金を活用し、作業にかかる手間賃を支払い、地域の若手の掘り起こしなどを行っている地域もあります。さらにそれでも厳しいところは、同交付金を活用し業者へ委託するケースもあります。多面的機能支払交付金については、出雲市農業振興課までご相談ください。
80	高松	農業機械が高騰していてなかなか更新できない。これでは農業をやめる者も出てくると思う。担い手対策はないか。	出雲農業未来の懸け橋事業が今回1億3000万円から800万円増額されました。一部メニューについては更新も可能としている事業もあります。また、担い手対策についてはU・ターンに対する国・県事業等の支援がありますが、親元就農については要件がなかなか取り組み出来ない状況です。そのため出雲農業未来の懸け橋事業では国等に比べ要件を緩和した中で、親元就農を支援していく予定です。更新時にも支援ができるように市や県・国に対し、出雲市農政会議と連携し、要望していきます。
81	高松	朱鷺の放鳥についてのメリットは何か。	出雲市を中心にトキを活用したブランド米などの検討をしています。ただし、農家の負担がかからないことが前提であり、JAとしても行政等と連携のうえ取り組みを進める必要があると考えます。
82	高松	スマート農業の対象はどういったものか。指導員を地区本部に1人は設置してほしい。	農林水産省ではHP上で「スマート農業技術カタログ」として掲載しています。今後は、スマート農業技術活用促進に係る法律の施行にあわせ検討されると伺っています。専門のスマート農業に係る担当者については、耕種・園芸・畜産と幅広く、どのような体制がよいのか検討する必要があります。
83	高松	食品加工販売について、法律で制限され、これから加工販売をしようと思っても加工場などの施設が整備できない。JAとして何か方法はありますか。	出雲農業未来の懸け橋事業にける直売会のメニューとして少額ですが事業があります。最寄りの営農センターにて相談をお願いします。ラピタ農産物直売会の皆さんに調査しており、空き施設を利用することなども考えています。
84	高松	子ども共済に関して子ども倶楽部という特典がある。会員の交流ができてよいのではないかと。また、子供さんが障害を持たれた方がいて勤めを辞めて介助している方もいる。掛け金を支払うのも厳しいと聞くが減免や減額措置などできないか。	ご意見を全共連につなぎます。
85	高松	職員が減少している。定年退職だけでなく若い職員が多く辞めているように感じる。職員がいて組合員との繋がりがあがるのでは。できるだけ若い職員が残るような方策を検討してほしい。	新人事制度の導入に向けて手続きが進められており、JAしまね全体で職場環境の改善を図っていきます。
86	大津・上津	支店体制整備について、JAの経営改善上やむを得ない状況であることを理解したうえで聞きたい。今まで提示された議題において、どうしても譲れない部分(例えば支店名称変更コスト等)とは何か。具体的に示されたい。変えられない本音の部分を示されることで、着地点が見えるのではないかと。	収支改善が大命題であること、および採用難等による職員減少が顕著な中では効率的な業務運営を行う必要に迫られています。そうした状況下においては、会館等の遊休資産の整理による施設費の減とランチインランチの解消(店舗統廃合)による支店運営の効率化を早期に実施する必要があります。支店名については、7/12に大津・上津合同での支店運委員会を開催のうえ協議した結果、『出雲東支店』とする方向で調整中です。正式決定は、9月開催の本店理事会となり、その後、農林中央金庫への正式申請が受理された後に、組合員・利用者へ周知を行う予定です。
87	大津・上津	「ランチ化」により集約された支店は、当然ながらそれまで以上に多くの組合員を対象として運営を行っていると思います。大津支店に限らず、統合後の各支店が人員配置(特に窓口)等どのように拡充しているのか具体的に伺います。仕事上よく利用する某支店窓口は、1時間待ちの時もあり、他の利用者から「他の支店に行けばよかった」という声も耳にしました。混雑時に特別に対応する動きもなく、拡充した感がない。	母店・ランチ店の信用・共済の事業量(口座数・保有数・残高等)・事務量(信用端末打鍵数・共済事務処理件数・来店者数)等を考慮し、支店職員数を決定し配置しました。しかしながら、職員の退職者数の増加と採用難により、支店再編時に配置した職員数が確保できなくなっているのが現状です。人員確保はもちろんのこと、応対する窓口カウンター・端末機の増設が必要となりますが、各支店のスペースを含め物理的な面から難しい問題となっています。このことからランチインランチを解消し、支店業務の効率化を図り、利用者の皆様の利便性を向上させる必要があると考えています。なお、特に窓口が混雑する平田中央支店(平均来店者数115名)では、混雑予想を店頭掲示しているほか、6月20日にはATMを増設し対応を行っています。
88	大津・上津	支店の統廃合があまりにも無責任な計画のような気がします。途中で中学校区1支店という方針が見直し・凍結(?)になるなど、そもそも十分に議論された計画ではなかったのではないかと危惧しています。支店統廃合の目的を今一度明確に説明してください。	支店再編に取り組まざるを得なかった背景として、農業・JAを巡る情勢変化は著しく、農家戸数・農業就業人口の急速な減少、組合員・利用者ニーズの多様化、マイナス金利等の長期化による収益圧迫など、JAの経営は他の金融機関同様にかつてない厳しい状況下にありました。特に信用事業においては、令和元年度から4年にわたり農林中央金庫からの預金奨励金が削減され、新たな金融システムである「営業店システム」の全支店への導入義務化が決定され、事業管理費が増大する見込みとなり、地区本部全体の収支に大きな影響を与えることから、JAの最大の使命である『持続可能な農業の実現』を将来にわたり実践するため、支店再編という苦渋の決断をするに至りました。なお、中学校区1支店化については、計画を凍結したわけではなく、新店舗建設を伴う可能性があるため、慎重な判断が必要であるとの理由により継続協議としています。
89	大津・上津	先般の「上津大津支店運営会議」で珍部本部長が現在のJAの経営悪化原因を説明されました。それに対して、執行部は具体的にどのような「経営責任」をとられたのでしょうか。参考までに、執行部・理事それぞれ過去5年間の報酬額を役職別に一覧にして提示(特別支給・ボーナス等は別個に提示)願います。	第2次中期経営計画最終年度である令和3年度において、令和4年度からはじまる第3次中期経営計画(3か年計画)を策定するにあたり、改めて当地区本部の収支シミュレーションを行ったところ、非常に厳しい経営見通しとなる結果となりました。特に、信用・共済事業の大幅な減収が予測されたことから、苦渋の決断として支店再編の取組みを進めることになりました。その結果も奏功し、令和4年度・5年度ともに黒字決算となったことから、当地区本部としては経営責任を問う状況にはないと考えます。一方、新聞報道等にもあるように、農林中金で、経営責任として理事長の役員報酬を3割減額するとされています。

令和6年度地区別組合員大会 質問・意見・要望の要旨 (開催日順)

通番	ブロック・支店	質問・意見・要望の要旨	回答
90	大津・上津	JAでは、組合員が総代・JA委員・転作委員などの役割を担って活動に参加したり協力していますが、近年は農家組合員が少なくなったり、高齢化によって人材が不足しています。支店再編と同様にこれらの役割も見直してスリム化してはどうか。	総代は、正組合員の代表として当JAの経営に関する重要な事項を決定する役割を担っています。JA委員は各地区(町内等)より総代を選出いただくことが主たる任務の一つとしてご協力いただいています。総代の定数は次期改選以降も県下全体で1,000名を維持していくことで検討が進められています。JAでは組合員に様々な役割を担っていただき、運営に参画いただいておりますので、今後ともご協力をお願いしたいところですが、ご意見のとおり、少子高齢化等に伴う組合員数の減少もあるなかでは、JA委員をはじめ各種組織のあり方を検討すべき時期にきていると認識しています。まずは支店体制を固めたくうえで、どのような組織・役割としていくかが今後の課題であると考えます。
91	大津・上津	今年度から支店長も代わられて、支店の雰囲気が変わり、職員さんの元気ある声で対応もよく感じられる。	お褒めをいただきありがとうございます。今後も組合員・利用者の皆様に気持ちよく来店いただけるよう、職員の接遇マナー向上に努めていきます。
92	大津・上津	大津支店の駐車場が少なく、東側の駐車場が使えないのか。もっと駐車可能台数を確保してほしい。	東側の駐車場は職員駐車場として賃借しています。ご指摘のとおり、大津支店の駐車可能台数が少ないことは、これまでも課題として認識しています。なかなか、支店周辺の駐車場が見つからないのが現実ですが、近隣賃貸物件の空き状況を確認しながら駐車場の確保について検討していきます。
93	大津・上津	ラビタ店舗で、物価高騰の中、魚肉類など安価で新鮮で買いやすい。他の店に負けないで頑張してほしい。	いつもラビタをご愛顧頂き、誠にありがとうございます。地元スーパーとして『安全・安心・新鮮な地元の農畜産物の販売』を中心に、これからも皆様のお役に立てる店舗運営を心掛けて参りますので、引き続きご支援をお願いいたします。
94	大津・上津	支店の名称を変更するのにお金をかけるより、上津会館のATMを移転することにお金をかけて欲しい。	名称変更に伴うコスト増の大半は通帳等の再発行費用となります。なお、上津ATMは維持していく考えであり、移転が必要であれば当然実施します。
95	大津・上津	支店統廃合は農林中央金庫の指導とのことだが、赤字を出している農林中央金庫の指導を聞く事がおかしい。農村地帯の支店から撤退させているが、農業協同組合の考え方が違ってきているのではないのか。高齢になって免許を返納した場合、ATMにも行けない。そういう地区を助けるのがJAの役割ではないか。	金融庁が監督する制度である「早期警戒制度」が地銀に続き、JAにも適用されています。この監督制度は、人口減少や高齢化の進展等により経営環境が厳しさを増す中において、「持続可能なビジネスモデルの構築」と「将来にわたる健全性の確保」が必要との考えのもと、監督の目線が「現在の実績」から「将来の見通し」に変更されています。早期警戒制度において、信用・共済事業が主体の支店の重要度は高いと考えられます。JAしまね統合時よりできる限り支店を維持していくこととしていましたが、急速な社会情勢に伴う苦渋の決断であることをご理解ください。
96	大津・上津	農家のためのJAなので、農村側を残して都市部を撤退とはならないか。中山間地の組合員離れが進む。都市部の組合員の方がJAへの貢献度が高いからか。	事業所の配置については、どうしても人口や事業量の伸長といった面を加味する必要があります。一方で、農業振興においては、出雲農業未来の懸け橋事業やJAしまね農業振興支援事業等の多くは、都市部ではなく農村部でご活用いただいています。今後とも、持続可能な農業を実現するための苦渋の決断であることをご理解ください。
97	大津・上津	5年ぶりの組合員大会開催との事で良い事だと思う。上津女性部は3本柱の「地域の活性化」という点から上津会館で毎月1回『笑みちゃんカフェ』を開催し、地域のよりどころとなっている。来年の1月までかも知れないが、続けていきたい。支援・協力を願いたい。	会館が使用できなくなった場合の基本的な考えとして、組織活動についてはコミセン等を利用いただき、その場合の利用料等をJAが負担することとしています。ご心配をおかけしますが、できる限りの支援を行いますので、引き続き女性部活動での活動を願います。
98	朝山・稗原	朝山・稗原のランチインブランチが解消された後の支店名はどうか。出雲南支店などへの変更の予定はあるのか。	統合後の支店名称は、コスト増および事務負担を考慮し、原則、現在の母店名称(朝山支店)を採用することとしていました。4月に朝山・稗原・乙立合同での支店運営委員会を開催し、皆様からのご意見を頂戴し、再度7/5に支店運営委員会と協議した結果、『出雲南支店』とする方向で調整中です。正式決定は、9月開催の本店理事会となり、その後、農林中央金庫への正式申請が受理された後に、組合員・利用者へ周知を行う予定です。
99	朝山・稗原	稗原会館の継続使用はどうか。女性部活動などで継続使用するための支援等はあるのか。	現時点では、令和6年12月を目途に、地域からの活用提案を受け付けている段階であるため、明確な回答は差し控えていただきます。会館が使用できなくなった場合の基本的な考えとして、組織活動についてはコミセン等を利用いただき、その場合の利用料等をJAが負担することとしています。
100	朝山・稗原	大農家はTACに営農相談はできるが、個人の農家が必要な時に何時でも営農相談に行ける相談窓口を設けてほしい。南部営農センターは、佐田にあり遠いため地区本部の営農部等に設けてもらいたい。	毎週火曜日に、朝山支店において、9時～12時まで営農相談日を設定しておりますのでご利用ください。それ以外の日の対応については、営農相談員や営農指導員が携帯電話を持ち、営農相談等に対応できるようにしております。また、必要に応じて出向く対応をしておりますので、相談がございましたら、ご一報ください。
101	朝山・稗原	JA全農農機サポート株式会社佐田サービスセンターで農機具(草刈り機)の修理を依頼したところ、部品の在庫がないため取り寄せに1日から2日かかるとのこと。今までは消耗部品とか故障しやすい部品は在庫があって、その場で修理してもらっていた。今は本社の意向で在庫は置かないとのことだが、ある程度の部品などは在庫してもらいたい。そうしないと顧客は他社に逃げた。修理代の支払いは事務員がいなくなったため、口座引きとのことだが、現金支払いができるようにしてもらいたい。	部品の在庫につきましては、よく使う消耗部品は、各サービスセンターにある程度は在庫して修理対応をしております。在庫管理の面から在庫部品点数は圧縮しておりますが、全農部品センターに在庫があるものでしたら翌日入荷しますのでご理解いただきますようお願いいたします。また、佐田SCにおいては事務員の配置が無くてご迷惑をかけておりますが、現金の取り扱いが出来ないわけではなく、リスク管理の面から、なるべく口座取引をお願いしております。
102	朝山・稗原	今までラビタ本店2階に衣類・洋服売り場があり、利用していましたが、店舗改装によってなくなった。せめて衣類(下着類)の売り場を設けてもらいたい。	本店2階については、競争激化などによる売上の減少、コロナ禍や流行が早いことに起因した過剰在庫、専門職員の不足などから苦渋の決断でしたが衣料品の直営売場を廃止しました。その後、皆様からご要望をいただき、2階特設コーナーにて下着や肌着類の販売やテナントによる衣類販売をしております。以前のような衣料品の直営展開は考えていませんが、季節はじめにセンターコートでの催事を企画していますのでぜひご利用ください。
103	朝山・稗原	自分は「みどり営農組合」で稗原地区の水田を請け負っているが、体調も悪く高齢となりこれ以上続けていくことは困難になってきている。先日も新たに田圃を請け負ってくれと頼まれたが、自分では無理なので他を探したが見つからない。JAで関係機関・団体等と連携し、早急に担い手問題を相談できる窓口を設け、対応してもらいたい。	耕作ができなくなる農地は今後も増加していくものと想定されます。現在、稗原地区では農業法人、集落営農組織、認定農業者の皆さんで耕作条件改善事業に向けた取り組みや出雲市内の各地区で5年に一度の地域計画の策定を行う年度となっています。その中でもこの先5年後を見据えた計画を作成することとなっています。農地として維持していくところや山林等になるところを整理して担い手の皆さんがより効率よく作業が行えるよう協議することとなっています。その中でJAとしても役割を発揮していきたいと考えます。出雲農業未来の懸け橋事業の予算を増額して対応し、機械更新や担い手育成を目的とした担い手育成ビジョン促進事業で支援しますのでご利用いただけますようお願いいたします。
104	朝山・稗原	農林中央金庫の赤字の影響でJAは大丈夫か。	農林中央金庫は利回りの低い外国債権を売却することにより、令和6年度は1兆5千億円の赤字となる見込みです。これにより、農林中金からの還元が減少するため当地区本部の収支にも少なからず影響はありますが、事前の情報に基づき令和6年度事業計画に盛込んだうえで黒字計画を策定しています。
105	朝山・稗原	数年前に機能性農作物に取り組んでおられたが、今はどうなっているのか。また、地区本部として営農部門にどれくらい力を入れているのか。JAはもっと農家に寄り添い、それがJAの本来の姿ではないか。職員も減ってきている。	現在は、佐田地区のえごま栽培を30名が取り組んでいます。一番多い取扱いとしては、ブロックロー「出雲フォルテ」で17名の1,444万円です。農業振興施策を強化するべく、今年度より出雲農業未来の懸け橋事業の予算を増額し取り組んでいます。
106	朝山・稗原	合併後10年たつが、当初は出向く体制をしていくと言っていたと思う。外勤日は絶好の機会であると思う。組合員の意見を吸い上げて欲しい。外勤日ももっと有効に使うべきではないか。	長く続いたコロナ禍により、組合員・職員ともに接触を避けるようになってしまいました。しかしながら、外勤日は組合員等とのコミュニケーションを図るべく実施していることもあり、有効な訪問活動となるよう改善していきます。
107	朝山・稗原	食料農業農村基本法条文について、弱小農家をいめるような悪法であり腹立たしくなる。(食料が足りなければ、農作物を作れ、作らなければ罰則を科す)JAはどう考えているのか。農政会議等を通じて強く反発してもらいたい。	食料農業農村基本法については、国民が最低限度必要とする食料の供給が確保されないときなど、有事の際に国が必要な措置を講じられるように法律で整備されたものであり、すべての生産者に無理やり生産させるような意味合いではないと考えています。正しい情報が発信されていないため、誤った情報がSNS等で発信されて不安を煽っているとも思われ、正しい情報や理解促進のため農政会議などと一体となって取り組んでいきます。【重要】事業者のできる範囲での計画を届け出れば罰則の対象になりません。(『増産』の計画の届出を義務付けるものではない)【重要】計画に基づく生産等が行えなくても罰則の対象にはなるわけではありません。生産者だけに終わることではなく、資材販売業者や輸入業者などによる肥料の売り惜しみや高い価格での輸入調達などの価格対策する全ての事業者に関わってきます。
108	荒木・遙基	1か月前農業委員会から「10年後の農地についてどのように考えているか」というアンケートがあったがJAは把握しているか、耕作放棄地をどのようにするか考えているか	現在、出雲市農業支援センターを中心に地域計画の策定を行っています。将来の地域のあり方を地域の担い手や農業委員・行政・JAなどが集まり検討しています。この地域計画は策定して終わりではなく、毎年見直しをしていきます。このような方法を活用しながら、耕作放棄地の発生防止や解消に連携を図りながら取り組んでいきたいと考えています。この取り組みの中で今回のアンケートを実施しており、地域の実状把握に努めています。
109	荒木・遙基	ラビタの店舗運営が厳しいということだが、店舗運営検討委員会ではいろいろな角度から検討したほうが良いと思うが、構成メンバーはどうなっているか。地元の方や女性は入っているか。	昨年10月に検討委員会を立ち上げ、今後の小規模店舗の在り方について協議を始めました。現在は内部職員で構成していますが、今後は外部の方にも参画頂き、検討を進めていきたいと考えます。
110	荒木・遙基	荒木地区農道沿いに「いちご狩り農園」ができるが、JAも一緒になってやっていくことになっているのか。	地域のためになり、協力できることがあれば組合員の皆様の意見を聞いたうえで支援を検討していきます。
111	荒木・遙基	通常総代会で「JAしまねが「ファームサポート美郷」から撤退することが決まったが、なぜそのようなことになったのか。自分は現在畑を耕作しているがJAが支援をしないと10年後はどうか。	ファームサポート美郷は厳しい経営状況が続くとの見通しから、美郷町からの追加資本を受け、美郷町の意思反映を強化するために社員を美郷町のみとするのが社員総会に附議され、現在社員である当JAにも退社の要請があったものです。農地は大切な資産であることから、まずは将来について、ご家族内で相談いただけますようお願いいたします。そのうえで営農センターへ農地の貸し借り等についてご相談ください。
112	荒木・遙基	JAしまねは現在理事が40名いるが、人数が多いのではないのか。また、若い職員の離職率が高い理由は給料が安いと聞いたが理事を減らしその報酬を職員の給料に回してはどうか。	本店と11地区本部それぞれの運営を担う理事の人数については、決して過大ではないと考えます。
113	荒木・遙基	「年金+α農業のすすめ」について、現地で実習するような指導をしていただきたい。	西部営農センター管内では、2ヶ月に1回「農業三昧」と題して野菜・果樹の講習会を開催しています。今後は、実習もできるような内容での開催も検討します。また、実践型の研修として、出雲市農業支援センター主催で、「アグリビジネススクール」を実施しておりますので、ご検討ください。
114	荒木・遙基	女性部員は高齢化が進み部員数も減少している中でラビタ店舗が頼りである。このまま閉店せず頑張してほしい。	厳しい運営状況ですが、店舗運営を継続していくための抜本的改革について検討を重ねています。今後とも皆様のご支援・ご利用いただけますようお願いいたします。
115	荒木・遙基	ラビタ本店の西側道路が拡張されると高齢者は横断が危なくなる。対策は考えてあるのか。	警察や市とも協議しながら、安全確保に努めて参ります。

令和6年度地区別組合員大会 質問・意見・要望の要旨（開催日順）

通番	ブロック・支店	質問・意見・要望の要旨	回答
116	荒木・遙堪	支店再編について、最終的に出雲地区本部内の支店の数はいくつになるのか。また、その後はどのような経営計画を立てているのか。	再編計画は、12支店＋出雲支店＋出雲市役所支店の計14支店としていますが、組合員・利用者の利便性確保の観点や経営環境に基づき、慎重な判断が必要と考えます。
117	荒木・遙堪	知人から出資金が凍結され脱退できないと聞いたが、農林中央金庫の問題が関係しているのか。	出資金は、例年6月に開催する通常総代会の決議を経てからお返しできるものであり、脱退の申し出後、1年近くかかる場合もあります。農林中央金庫の問題とは関係ありません。
118	荒木・遙堪	農林中央金庫の赤字決算でJAはどのような影響を受けるのか。	農林中央金庫は利回りの低い外国債権を売却することにより、令和6年度は1兆5千億円の赤字となる見込みです。これにより、農林中金からの還元が減少するため当地区本部の収支にも少なからず影響はありますが、事前の情報に基づき令和6年度事業計画に盛込んだうえで黒字計画を策定しています。
119	湖陵	ラビタ湖陵店で大半の買い物をしている。タイルのためか冬季の雪時分に西側自動ドア入口で、何人もの人が転ばれるのを見てきた。その中の1人は足が不自由な方で大変な目にあわれたようだ。ぜひ対策してほしい。（個人的には、習慣として南側しか使用しない。）	現在は、西風が強かったり大雨の場合は、西側入口を閉鎖し、南側入口のみ利用できるようにしています。転倒された方を見かけられたという事ですが、フロアマットを増やしたり、注意喚起のポスターを掲示したりして、更なる安全対策に努めて参ります。
120	湖陵	ラビタ給油割引券について、ガソリン3円引き券は1車両限りになっているが、田植機・トラクターに使用できるか。使用できるのであれば、例えば田植えの最中に田植機をスタンドまで持っていけないので給油タンクでも割引を可能にしてほしい。また、軽油は対象か。	ラビタ割引券での携行缶へのガソリンおよびポリ缶への軽油の給油についても割引対象とします。ただし、1枚の割引券については1油種のための割引となります（システムの関係から複数油種を選択することはできないためです。）。ガソリン車で来店して車とガソリン携行缶への給油は両方割引対象となります。ディーゼル車で来店して車と軽油ポリ缶への給油も両方割引対象となります。軽トラック（ガソリン車）での来店して軽油ポリ缶持参の場合は、車へのガソリン給油とポリ缶への軽油給油の両方への割引はできないため、どちらか一方のみ割引対象となります。
121	湖陵	みどりショップについて、バックシーラーテープはホームセンターより価格が高い。ラビタファーマーズ野菜で売れ残りを引き取りに行った時、テープが剥がれている。粘着力が悪くなっている（古い？）。使い捨てなので高級でなくても安いものでよい。（使用期限はないのか？古くなると粘着力が落ちるのでは？）	ホームセンターとJAのバックシーラーテープの価格差は、仕入先や販売量、ブランド、送料などの要因により生じます。ホームセンターと比較するとどうしても発注量が少なく割高になってしまっています。今回ご意見いただき発注方法の見直しを行い、店舗全体で年間数量をまとめて発注する事でスケールメリットを生かした方法等を検討します。また、バックシーラーテープの色についても何色も用意しており販売数が少ない色は集約することも検討します。バックシーラーテープの使用期限はありませんが、保管状態や経年劣化で粘着力が低下することはあります。適切な保管と品質維持に努め、古い在庫は値引き対応して売るなど長期在庫にならないように努めます。仮に粘着力に問題がある場合は交換対応も検討させていただきます。
122	湖陵	車検に出したがウォッシュ液の補充等のサービスはないのか。また、一部点検の不備があった。JA離れ防止のためにもよろしく願います。	点検の不備については大変申し訳ございませんでした。車検整備は、多くの方にご利用いただくためできるだけ安い基本料金を設定しています。そのため、ウォッシュ液の補充等をご希望により有料での対応となります。また、JAで自動車を購入されたり、車検を受けていただいた方については次回車検までJA-SSで2円/ℓ引きのサービスも行っていますので、ご理解いただきますようお願いいたします。
123	湖陵	ニュース等で海外の市場において日本産の米は、ブランド価値があり高値で取引されているようだ。米の値段について、より高い買取価格を検討いただいていることは承知しているが、以前に比べると低い価格に変わりはしない。より高い価格で販売するためにも、海外市場への販路拡大に目を向けてはどうか。	現状は、国内でも米不足の状況にあり、JAしまねにおいても相当量の受注を受けており、その対応で手一杯のため、他の販路に回すだけの米がない状況ですので、まずは現在の販売を優先したいと考えています。
124	湖陵	JASSは、キャッシュレスへの取り組みが進んでいて利用しやすい。（クレジットカード、スマホ決済のほぼ全部が利用できるのはJASSだけである）	ご利用いただきありがとうございます。これからも皆さんに喜んでいただけるようサービスの向上に努めて参ります。
125	長浜	農林中央金庫が大変なことになっているが、組合員に影響がでるものか。	令和6年度は農林中金からの還元が減少するため、当組合の収支に少なからず影響はありますが、事前の情報に基づき今年度の事業計画に盛込んだうえで黒字計画を予定しています。また、JAしまねの自己資本比率は13%強であり、基準値の4%を大きく上回っていることから、健全性は十分に確保されています。さらに、JAバンクでは万が一の備えとして、他の金融機関の預金と同様、保険制度による保護もありますので安心ください。
126	長浜	農中からの7億の配当がJAしまねに入らないという記事が出ていたが大丈夫か。	農林中金からの奨励には「預金奨励」と「出資奨励」があります。7億円は出資奨励として当組合に配当され、7億円のうち当地区本部には1億8千万円が配当されます。出資奨励は事業外収益として計上していますが、令和6年度の事業外収益は前年対比▲2億4千万円で計画しており、その内の1億8千万円が今年度無配当となる出資奨励分です。今年度はこれを加味したうえで黒字計画を予定しています。
127	長浜	ジュンテンドーとの業務提携について何をどう提携したのか。	業務提携の内容として、まず店舗連携を行ったジュンテンドーの店舗にてJAマーク商品の肥料や農薬などが購入できるようになります。また、JA組合員がJAの「おさいふカード」と連携登録したジュンテンドーの「いきいきポイントカード」を提示して買い物をする、通常の買い物金額200円（税別）につき1ポイント付与される、組合員は200円（税別）につき2ポイントが、いきいきポイントカードに付与されます。更におさいふカードへのポイント付与として、JA組合員がジュンテンドー店舗にて「いきいきポイントカード」を提示して買い物をする、お買い物金額10,000円（税別）につき30ポイントが年間購入金額に対して一括付与されます。
128	長浜	中堅職員の退職が多いのはなぜか。適材適所の配置はしているのか。特に組合員に影響が大きい営農センターなど人員配置をしっかりとしてほしい。	給与水準が近隣他社と比較してどうなのかといったことや、将来設計として自身のキャリアアップを目指しての退職が多いものと推測されます。今後は、新人事制度の導入により給与体系を一本化する考えで手続きが進められています。給与体系が統一されることにより、地区本部間の異動も可能になるので、人手不足等の問題も改善が見込めるものと思われます。
129	長浜	ラビタ本店西側の道路拡張のためケンタッキーが壊されたが、再開されるのか。また、道路が拡張され交通量も増えると思うが何が対策を考えているのか。	ケンタッキーは12月初旬に移転オープン予定です。道路状況については、今後、警察や市とも協議しながら、安全確保に努めて参ります。
130	長浜	湖陵給油所は休店日が増えて週2日になるようだがなぜか。	スタッフ不足のため現状の人数で8か所の給油所を運営していくための苦肉の策として、当面の間（8月からの2ヶ月間）湖陵と白枝の給油所を週2日休店日を設けることとしました。ご理解いただきますようお願いいたします。
131	長浜	初めて組合員大会に出席したが今の質疑を聞いていると心配になる話しかなく情けない。人がいないJAでは今後の発展もない。もっと良い話はないのか。先の明るい話が聞きたい。	長浜地区をはじめ西部ブロック管内では新規就農者が増加傾向にあります。また、ぶどう産地再興を目的に浜町地内にぶどう団地の造成を計画しています。
132	長浜	中堅職員が辞めていくのも給料だけでないと思う。新規就農者でなく、職員が確保できる体制を講ずべきではないか。	今後は、新人事制度の導入により給与体系を一本化する考えで手続きが進められます。給与体系が統一されることにより、地区本部間の異動も可能になるので、人手不足等の問題も改善が見込めるものと思われます。また、職員が働きやすい環境整備にも努めていきます。
133	長浜	資材・燃料価格の高騰にも関わらずそれが売価に反映されない。生産者がその分をかぶっているが、いかになものか。	6月に改正「食料・農業・農村基本法」が施行されており、その中で適正価格の促進が記載されています。基本法自体は理念法に基づいたものであり、来年度策定される食料・農業・農村基本計画にて具体的な動きが示される予定です。適正価格実現のため、出雲市農政会議と連携し、地元選出国會議員をはじめ、関連する議員にも働きかけを行います。
134	長浜	インボイス制度導入により、従事分量配当する営農組合にとってはイジメのようなものだ。営農組合に有利なるような対策をJAで考えてほしい。	インボイス制度導入以前よりご指摘の内容を問題視し、農政会議を通じて、国・県・市に対して、インボイス制度の見直しも含めた要望を行っています。今後も、地元選出国會議員等へ働きかけを継続して行います。一方で、現状を踏まえた対策として農事組合法人という組織形態を継続することがよいか、または法人形態を株式会社化するという選択肢もあろうかと思えます。営農組織も体制が違うこともあり、JAとしてどのようにすべきか、個別対応をいっていく必要があると考えています。